

講師：竹村 牧男 先生

仏教学者・東洋大学学長・筑波大学名誉教授

「唯識思想について——大乘仏教と現代」

講演趣旨：

唯識思想は、インドにおいて、5世紀頃、無著、世親によって大成され、7世紀には玄奘三蔵によって中国に移植されて法相宗が成立した。日本には奈良時代に伝えられ、興福寺や薬師寺で今に伝承されている。それは、認識論、存在論、言語論等が統合された、精緻な理論体系を持つもので、大乘仏教の基礎的な世界観を構成している。その内容は21世紀を生きる私たちへの指針となる先進的で普遍的な思想である。今回、その一端をご紹介します、大乘仏教の現代的意義を考えたい。

講師紹介：東洋大学長 竹村 牧男 先生

〔学歴・研究歴〕

- 1971年、東京大学文学部印度哲学科卒業
- 1974年、東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了
- 1975年、東京大学大学院人文科学研究科博士課程退学
- 1993年、唯識思想研究で東京大学より博士(文学)の学位を取得

〔職歴・現職〕

- 1984年、三重大学人文学部助教授
- 1988年、筑波大学哲学・思想学系助教授、1992年～2002年同教授
- 2002年、東洋大学文学部教授、2016年～現在、同文学研究科教授
- 2009年9月～現在、東洋大学学長

〔業績〕

『唯識三性説の研究』春秋社(1995年)／学位論文の刊行、『親鸞と一遍』法蔵館(1999年、2017年講談社学術文庫で再版)、『西田幾多郎と鈴木大拙』大東出版社(2004年)、『正法眼蔵講義—現成公案・摩訶般若波羅蜜—』大法輪閣(2005年)、『入門 哲学としての仏教』講談社現代新書(2009年)、『成唯識論を読む』春秋社(2009年)、『日本浄土教の世界』大東出版社(2012年)、『日本仏教 思想のあゆみ』講談社学術文庫(2015年)、『ブッディスト・エコロジー』ノンブル社(2016年)、『心とはなにか』春秋社(2016年)、『大乘起信論を読む』春秋社(2017年)など多数の著作がある。



日時

2017年10月21日(土)
14:00～16:30 (開場 13:30)

☆参加費無料
☆事前申込不要(先着順) 定員 70名

会場

東京国際大学
高田馬場サテライト 4階

〈アクセス〉

- 地下鉄東西線「高田馬場」駅下車、徒歩4分
- JR山手線「高田馬場」駅下車、戸山口より徒歩約3分
- 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-23-23
- 東京国際大学高田馬場サテライト 4階 ☆お車でのご来場はご遠慮ください。

